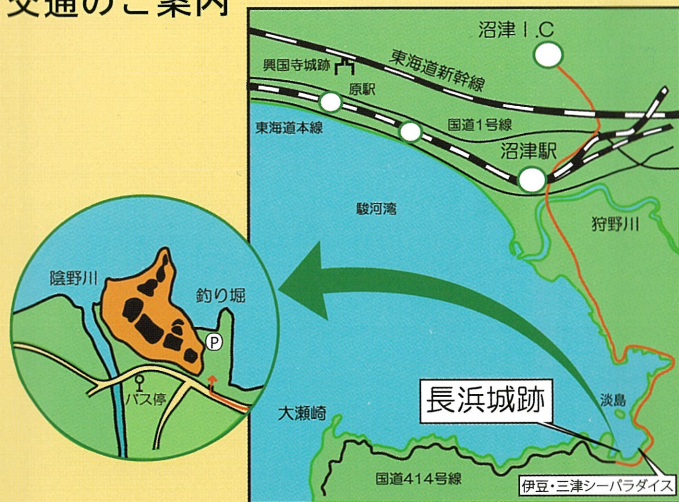


交通のご案内



公共交通機関をご利用の場合

東京 東海道線 → 沼津駅 沼津登山東海バス約 40 分 → 城下橋/バス停
名古屋 「木負」「江梨」「大瀬」行 (長浜城跡前)

東京 東海道線 → 三島駅 伊豆箱根鉄道約 20 分 → 伊豆長岡駅 伊豆箱根バス約 25 分
名古屋 新幹線 伊豆・三津シーパラダイス行
→ 伊豆・三津シーパラダイスから徒歩約 15 分 → 長浜城跡

自家用車をご利用の場合

東京 沼津 IC → 県道 83 号 → 国道 246 号 → 国道 414 号 → (杉崎町交差点左折)
上石田南交差点右折
→ (口野放水路交差点右折) → 県道 17 号 → 長浜城跡

東京 沼津 IC → 駿河湾環状道路 → 伊豆中央道 → 長岡 IC → 県道 130 号
新東名長泉沼津 IC (10 を降りて右折)
→ 三津三叉路左折 → 長浜城跡

お問い合わせ

沼津市文化財センター

〒410-0106 沼津市志下 530

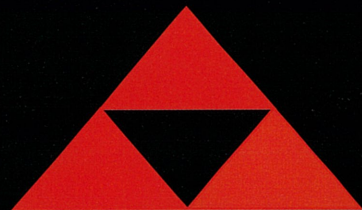
TEL 055-935-5010 FAX 055-933-1270

E-mail: cul-bunkazai@city.numazu.lg.jp

国指定史跡

長浜城跡

— 北条水軍の拠点 —

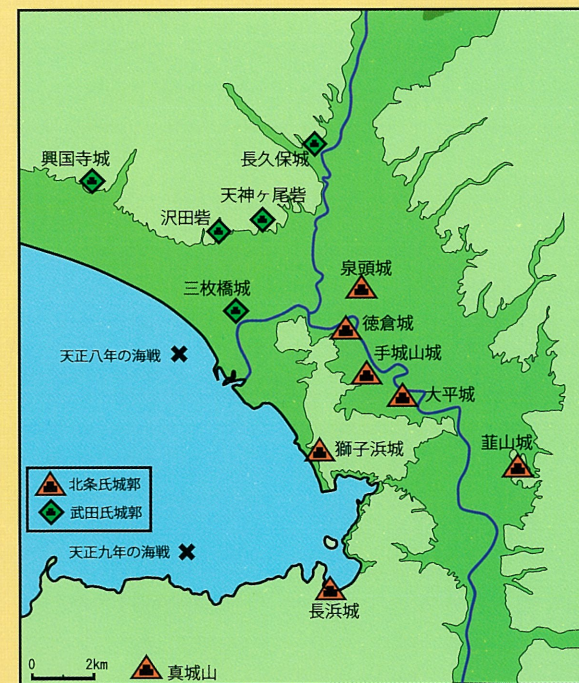


沼津市教育委員会

長浜城の築城

長浜城が築城されたのは 15 世紀後半ごろと推定されていますが、本格的な水軍城として使われたのは、天正七年（1579）に駿河国を手中に収めていた武田氏が、狩野川河口に三枚橋城を築き、北条氏をけん制した時でした。

北条氏は伊豆国の中で最も重要であった菰山城を守るため、徳倉や大平などの狩野川沿いの城を築城・改修しました。さらに海から菰山城に攻め込まれないように、獅子浜城と長浜城を整備し、長浜城には北条水軍の大將である梶原備前守景宗を呼び寄せ、北条水軍の主力を集結させました。



駿河湾海戦時（1580年ごろ）の城郭分布図



長浜城跡の頂上からは、内浦湾越しの富士山だけではなく、

自然

長浜城跡が位置する内浦湾は、西から延びる長井崎と、北東の淡島によって、風が遮られ、たとえ周囲が強風であっても、穏やかさを保ちます。そのため、船の係留に適しており、現在のヨット



穏やかな海と停泊するヨット

と同じように、戦国時代の軍船も、城の周辺に停泊していたと考えられます。

堀切

長浜城の基盤は1000万から200万年以上前に形成された凝灰岩層です。そのため堀を掘るためには、硬い岩盤を削り込むしかありません。

発掘調査によって第一曲輪で見つかった堀切は、敵

の侵入を防ぐために一部を畝として残しながらも、1.5mほどの深さまで掘り込まれていました。



発掘された堀切



堀切に残る畝

第二曲輪



復元された第二曲輪

城郭の中の平場を曲輪と呼びますが、長浜城跡の中で最も広い曲輪が、この第二曲輪です。海側は、視界が開けている一方で、山側では、防御用の土の壁（土塁）や堀切、そして建物跡など、戦闘のための工夫が至る所に施されています。